

第 9 7 6 回教育委員会会議概要

1 日 時 平成 2 5 年 2 月 4 日 (月) 午後 4 時 3 0 分 ~

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 清川委員長 川畑委員 吉井委員 小泉委員 西野委員 林教育長
豊北企画幹 小和田企画幹 (学校教育) 伊勢教育振興課長
国久学校教育政策課長 古谷高校教育課長 上野義務教育課長
吉田生涯学習・文化財課長 齋藤スポーツ保健課長 山元企画参事

4 議 題
なし

5 審議事項

(1) 開会宣告

(2) 会議録署名人の指名 西野委員 川畑委員

(3) 議事要録

◎協議・報告事項

協議事項

(1) 併設型中高一貫教育の導入について

①教育内容等について

委員 中高一貫校の視察をして、学力だけでなくいろいろな面を伸ばしていく必要があると感じる旨発言

教育長 グローバル化の時代に福井を説明できるリーダーとなる人間を育てたい旨発言

委員長 民間企業の社長などに外部人材として、教壇に立ってもらうことも、リーダー養成には必要である旨発言

委員 学生自らが学んでいく姿勢が大事である旨発言

委員 6 年間でトータルで考えることのできる中高一貫教育を学力だけでなく、体力面でも活用してほしい旨発言

委員 中高一貫教育のメリットデメリットを父兄にもっと説明していくべき旨発言

②開校準備等について

学校教育政策課長 開校までの準備に最低でも2年間がかかり、中学校特有の技術室などを作る必要性がある旨発言

教育長 2年間あるが、相当タイトなスケジュール、中高一貫教育を担う教員の養成が大事、今後県外の中高一貫校へ教員を派遣、過度な受験競争を煽らないようにしないといけない旨発言

③設置形態等について

委員長 設置の候補に挙がっている学校の先生の意見をよく聞くべきである旨発言

委員 優秀な生徒が、設置する中高一貫校に集中しないか質問

教育長 他県の実況を見る限り、あまり心配はなく、多くの校区から満遍なく集まってくる事が予想できる旨回答

報告事項

(1) 文部科学省からの体罰調査について

委員長 体罰事案が学校から教育委員会になかなかあがってこないのではないかと、すぐに教育委員会に上がるシステムを作る必要あり、スピード感を持って対処すべき旨発言

(2) 高等学校推薦入試の結果について

(3) 大学入試センター試験について

(4) 第4回南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者について

(5) 高校生海外語学研修派遣について

(6) 授業名人の任命について

委員長 本日の会議の終了を宣告